

中里北部地区社協だより



第54号 平成29年2月18日 発行責任者 竹内 英臣

年末助け合い募金



平成28年の年末助け合い募金には、中里北部地区の皆様のお心温まる善意の募金を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

特に、各町内会・自治会役員の皆様には、ご尽力いただきました事を深く感謝申し上げます。

おかげ様で右記のとおり多額の募金を頂戴いたしました事は、皆様の社会福祉に対する深いご理解とご協力の賜物と思います。

ご協力ありがとうございます。



(1月20日現在)

町内会・自治会名	募金額(円)
たちばな台町内会	20,600
たちばな台西自治会	62,200
たちばな台東自治会	13,800
寺家町内会	41,500
鴨志田緑自治会	101,297
鴨志田町内会	236,200
グリーンヒル鴨志田東団地自治会	23,550
グリーンヒル鴨志田西団地自治会	64,400
横浜市営鴨志田住宅自治会	19,600
たちばな台ガーデンハウス自治会	7,500
合 計	590,647

☆ 中里北部地区民生委員児童委員協議会より ☆



中里北部地区民生委員児童委員協議会会長 齋藤 世二

中里北部地区では民生委員児童委員16名(欠員1名・人選中)と主任児童委員2名の計18名が、厚生労働省の委嘱を受けて高齢者の見守り訪問や子育て広場、赤ちゃん訪問など、多くの皆様がお住み慣れた地域で安心して生活できるように日々取り組んでいます。このような活動には隣里や社会福祉協議会、地域ケアプラザ、自治会町内会など地域の皆様との連携・協力が必要・不可欠です。

これから特に注力したいことは、災害発生時の避難困難者の救助活動への取り組みです。“あおば災害ネット”という仕組みがあります。これは災害発生時、要援護者(お一人では避難が困難な高齢の方や障害のある方等)の安否確認・避難誘導などの活動が、近隣の助け合いで円滑に進むよう地域であらかじめ対象世帯を把握し登録するシステムです。このシステムが“いざ”という時に効力を発揮するためには、私達と自治会町内会や地域防災拠点との日頃からの連携が大変重要です。これから要援護希望者の登録推進等に取り組みますので、地域の皆様のご理解とご協力をいただきたく、よろしく願い申し上げます。

昨年12月に民生委員児童委員の交代がありました。次ページに全員の名簿を掲載しています。お困りごとやご相談事がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

<中里北部地区> 民生委員児童委員名簿 18名(男3名、女14名、欠員1名) 2017年1月25日現在

No.	地区分類	氏名	住所	電話番号	自治会/町内会
1	たちばな台1丁目A	樋口 なが子	たちばな台1-5-35	961-4510	たちばな台町内会
2	たちばな台1丁目B	藤本 恵子	たちばな台1-7-14	962-7555	たちばな台緑自治会 たちばな台町内会 たちばな台東自治会
3	たちばな台1丁目C	徳原 秀子	たちばな台1-12-15	962-2217	たちばな台町内会
4	たちばな台2丁目第1	峰村 啓子	たちばな台2-16-37	963-1754	たちばな台西自治会 たちばなガーデンハウス自治会
5	たちばな台2丁目第2	沼口 有紀	たちばな台2-2-38	507-3200	たちばな台町内会
6	たちばな台2丁目第3	富田 康子	たちばな台2-17-19	962-4908	たちばな台町内会
7	寺家町	田中 了子	寺家町 312	961-1132	寺家町内会
8	鴨志田町第1	阿部 政子	鴨志田町777	962-2536	鴨志田町内会
9	鴨志田町第2	油川 正樹	鴨志田町512-3-106	090-4063 -0893	鴨志田町内会 市営鴨志田住宅自治会
10	鴨志田町第3	平澤 淑子	鴨志田町514-3	961-4872	鴨志田緑自治会
11	鴨志田町第4	齋藤 世二 (会長)	鴨志田町569-1-19-404	962-2624	グリーンヒル鴨志田西団地 自治会
12	鴨志田町第5	藤平 洋子	鴨志田町569-1-14-202	962-2226	グリーンヒル鴨志田西団地 自治会
13	鴨志田町第6	田村 明美	鴨志田町525-1	961-8102	鴨志田緑自治会
14	鴨志田町第7	坂上 正一 (副会長)	鴨志田町541-28	963-5213	鴨志田町内会
15	鴨志田町第8	欠員 (齋藤 世二)			鴨志田町内会
16	鴨志田町第9	平原 澄江	鴨志田町533-1-304	962-9657	グリーンヒル鴨志田東団地 自治会、鴨志田町内会
17	主任児童委員	森田 文子	たちばな台 1-6-38-309	961-8110	
18	主任児童委員	富川 貴子	鴨志田町 544-1-106	961-3889	



鴨志田地域ケアプラザフェスタ



平成28年12月18日(日)第12回鴨志田地域ケアプラザフェスタが開催されました。当日は、晴天に恵まれ、模擬店やステージ発表、作品展示、フリーマーケット、活動団体の紹介等、多彩な催しで皆様とひとときを過ごすことができました。フェスタ開催に当たり、ご協力頂きました関係団体の皆様に紙面をお借りし、御礼申し上げます。今後も、地域の皆様の活動の場として、鴨志田地域ケアプラザをご利用して頂けるよう、職員一同笑顔でがんばります。よろしくお願い致します。



「平成29年4月1日から地域ケアプラザの利用方法が新しくなります」

平成29年4月1日以降に地域ケアプラザの貸館を利用する場合は、^{再度}新規団体登録が必要となります。お使いになるケアプラザにて団体登録の申し込みをお願いいたします。

詳細は各地域ケアプラザへお問い合わせください。

(鴨志田地域ケアプラザ 所長 帆苺 薫)

～青葉かがやく生き生きプラン～ 中里北部地区「ちょこボラ」



声をかけあい、助け合い、安心して暮らせるまちづくりを目指し、生活上の困りごとを解決したり、住民同士が交流を深め、支えあうことを目的とした活動のひとつです。

平成28年1月～12月までの利用件数は31件でした。(内容はゴミ出し19件、草取り4件、庭木の水やり2件、家具などの移動3件、ベランダと窓の掃除1件、玄関回りの掃除1件、扉の開閉の調整1件)

ボランティア会議を年4回開催の他、勉強会も随時行っています。

3月10日(金)13:30～15:00認知症について理解を深める勉強会を行います。ご興味のある方は、鴨志田地域ケアプラザまでご連絡ください。(鴨志田地域ケアプラザTel.961-6911)

(鴨志田地域ケアプラザ 鴨志田 真理子)

子育てふれあい広場

中里北部地区社会福祉協議会では、子育て支援の一環として、子育てふれあい広場を開催しています。

毎月第4水曜日(8月はお休み)13時30分から15時30分、鴨志田コミュニティハウスにて、子育て中の親子が楽しいひとときを過ごしています。手遊びをしたり、季節の歌を唄ったり、七夕飾りなどの制作をしたり、お茶を飲みながらおしゃべりしたりと、親子で一緒に楽しめる広場です。

クリスマス会のイベントやボランティアさんによる読み聞かせなども行っています。安心してご参加いただけるように活動中は、地域の民生委員や主任児童委員が暖かく見守っています。

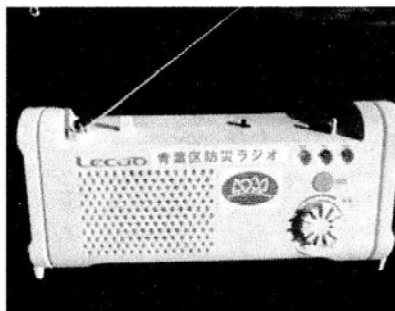


大人も子どももたくさんの人とのふれあいが大切です。子ども達にとって子育てふれあい広場は地域の方々とふれあえる初めての一步となることでしょう。ぜひ足を運んでみてください。子育て中の方ならどなたでも予約無しでご参加いただけます。みんなで遊んだり、おしゃべりしながら、友だちの輪を広げましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

(主任児童委員 森田文子)

○▼○ 災害時への備えが急ピッチで進んでいます！ 鴨志田緑小学校地域防災拠点（避難所）

平成27年度に「下水道直下型簡易トイレ」5台が、青葉区内の防災拠点では初めて緑小学校校庭内に設置された事は以前に当広報誌でお知らせしました。毎年行われています地域と鴨志田緑小学校・鴨志田中学校との合同での防災訓練においては、中学生徒による上記トイレの組立訓練(写真左)が恒例化となっており、緊急時のトイレ対応も万全に近い状態です。



平成28年度には青葉区役所主導で「青葉区防災情報伝達システム」が導入されました。このシステムは、青葉区役所から区内の防災拠点会長や町内会長自宅に防災ラジオが配布(写真中央)され、緊急時にFMサルー^スを使って緊急放送を行うと同時に、上記会長宅に緊急電話を一斉に行う仕組みです。

緑小学校防災拠点ではこの情報を受けた以降は、決められた手続きに従い防災拠点本部の立ち上げや避難所の開設を行います。震度6弱以上の場合には、負傷者の治療の為に、医師会・歯科医師会・薬剤師会が中心となった「地域定点診療拠点」が開設されます。この診療拠点の医師と区役所や昭和医大藤が丘病院間の緊急時通信網を確保する目的で、衛星携帯電話、移動無線電話機及びデジタルトランシーバーが既に備蓄倉庫内に設置されております。(写真右上・左はデジタルトランシーバー、右は衛星携帯電話)上記のハード・ソフト両面の増強に加えて、鴨志田緑小学校の最大の懸案事項であった、備蓄倉庫の移転問題が本年度解決されました。従来の倉庫は屋外と校舎内3階の2カ所に分れており、緊急時には特に3階倉庫からの物資搬出が問題として挙げられており、屋外新規倉庫の増設を横浜市に対し要望して来ました。

幸運にも増設工事が承認され、昨年11月に着工し本年1月末には完成して引越しが行われました。広さは約27m²(8坪強)のソーラー発電付きの最新防災倉庫です。これにより、震災時の校舎ダメージ有無に拘わらず防災拠点本部の立ち上げや避難所開設準備が行える事となりました。

以上の様に、ハード面の充実は特記されますが、避難所の運営等のソフト面では未だ十分とは言えません。近隣住民の食料品最低3日分備蓄等の「自助」努力と、地域防災拠点での防災訓練への参加やボランティア登録等の「共助」体制へのご協力を引き続きお願い致します。

(鴨志田緑小学校地域防災拠点 三輪恒巳)

皆様のご協力により広報第54号発行することができました。広報担当 鈴木忠夫 高山好主 板垣隆士 関戸博雅